科目ナンバリング	U-LAS54 10014 OJ12				
授業科目名 <英訳>	現代社会とＩＴ Information Technology in Modern Society		担当者所属 職名・氏名	教育改革戦略本部 特定教授 藤田　哲雄	
群	キャリア形成科目群	分野(分類)	その他キャリア形成	使用言語	日本語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義＋演習（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・前期	曜時限	火3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

現代社会は、IT（情報技術）によって動いている社会である。スマートフォンによるキャッシュレス決済、生成AIが生み出す文章や画像、自動運転車、クラウドでつながる企業システム――これらはすべて、私たちの生活とビジネスのあり方を根底から変えたITの力の表れである。本授業「現代社会とIT」は、このような“ITが社会のインフラとなった時代”を生きるための羅針盤である。単なる技術知識の習得にとどまらず、ITが社会構造・企業経営・個人の生き方にどのようなインパクトを与えているのかを、多面的に理解することを目的とする。

本授業の最大の特徴は、多様な業種からゲスト講師を招聘し、実社会のリアルな事例を深く掘り下げることで理解を深められる点である。
【II.事例研究】では、航空業・保険業といったサービス産業から、工作機械業などの製造業まで、多様な産業におけるIT活用の現場を取り上げる。たとえば、航空業ではデータ解析による運航最適化、保険業ではAIによる即時の損害査定、工作機械業ではプラットフォーム化によるスマート工場の実現――こうした具体的なケースを通じて、ITが各業界の競争力とビジネスモデルをどのように変えているかを理解する。ITはもはや「あれば便利」な補助的技術ではない。企業の成長と生存を左右する戦略そのものであることを実感できるだろう。

さらに本授業では、ITを通じて現代社会を読み解くための「思考の軸」について講義と演習を組み合わせて学び実践力まで育むことを重視する。【III.価値創出】から【VII.戦略とガバナンス】にかけては、デジタルトランスフォーメーション（DX）、情報セキュリティ、法制度、IT戦略・ガバナンスなど、現代のビジネスパーソンに求められるテーマを網羅的に扱う。講義で基礎理論を学び、演習やディスカッションでケースを分析することで、実社会で通用する分析力・構想力を鍛える。

特に「ITによる価値創出と思考法」や「IT戦略・ガバナンス」は、経営と技術をつなぐ思考力を養う上で中核的なテーマである。技術面だけでなく、組織の意思決定やリーダーシップ、倫理的判断など、社会人として必要な“ITリテラシーを超えた総合的な視点”を培う。

また、本授業は多様なバックグラウンドを持つ学生が共に考える場でもある。文系・理系を問わず、他の学生との協働学習を通じて、自ら問いを立て、調べ、考え、書き、異なる立場の意見を交わすことで、ITという共通言語を通じた協働と対話の力を身につける。こうした経験は、インターンシップや就職活動の架橋となるだけではなく、さらには将来のキャリア形成においても強力な基盤となるであろう。

ITは未来を創る道具であり、それを使いこなす力は「現代社会を生きる教養」である。
この授業を通じて、変化の時代を主体的に切り拓くための洞察力と実践力を身につけてほしい。皆さんの積極的な参加を歓迎する。

[到達目標]

・ITが高度に発展し、現代社会に深く浸透していることを認識したうえで、各産業におけるIT活用の特徴が理解できるようになる。

現代社会とＩＴ(2)へ続く↓↓↓

現代社会とＩＴ(2)

・現代社会の不可欠な要素であるITからさまざまな問題を考える視座を獲得し、異なる立場の人との対話を通じて課題を解決する筋道を理解できるようになる。
・企業経営においてITを適切に活用するための戦略や組織的な仕組み、さらにはデジタルトランスフォーメーション（DX）の本質について理解できるようになる。

[授業計画と内容]

【I.イントロダクション】
１．ITの発展と社会・企業への浸透（藤田）
【II.事例研究】
２．航空業とIT（ANAシステムズ）
３．工作機械業とIT（DMG森精機）
４．保険業とIT（東京海上日動火災）
【III.価値創出】
５．ITによる価値創出と思考法（講義）（藤田・NTTデータグループ）
６．ITによる価値創出と思考法（演習）（NTTデータグループ）
【IV.技術革新】
７．ITの技術革新（講義）（日本電気）
８．ITの技術革新（演習）（日本電気）
【V.セキュリティ】
９．情報セキュリティ（講義）（日本総合研究所）
１０．情報セキュリティ（演習）（日本総合研究所）
【VI.法制度】
１１．ITと法（講義）（日本総合研究所）
１２．ITと法（演習）（日本総合研究所）
【VII.戦略とガバナンス】
１３．IT戦略・ガバナンス（講義）（藤田）
１４．IT戦略・ガバナンス（演習）（藤田）
１５．フィードバック
一つのテーマにつき同一企業のゲスト講師が２回授業（講義・演習）を担当する場合（第５回～第１２回）には、複数講師による講義を可能とするために１回は教室におけるリモート授業とすることがある。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（毎回の課題提出状況）（20%）、演習（30%）、レポート（50%）によって評価する。

[教科書]

渕崎正弘・若林靖永（監修）藤田哲雄（著）『IT*と現代ビジネス: 実践から学ぶ経営・実務・技術』（京都大学学術出版会、2023年）ISBN:978-4814004911

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

現代社会とＩＴ(3)へ続く↓↓↓

現代社会とＩＴ(3)

[授業外学修（予習・復習）等]

受講に必要なITに関する知識は授業内でも解説を行うが、ITとその社会と産業における役割について、各自で解説書を読む、新聞等で最新の情報を得るなどして、常に興味を持続させる努力をすることを期待する。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーは特に設定しない。質疑はメールにて随時受け付ける。
藤田　哲雄: fujita.tetsuo.3m@kyoto-u.ac.jp

[主要授業科目（学部・学科名）]